

## 東広島市周辺の新しい交通体系

工学部地域環境工学講座

門田博知

### 主な交通体系

東広島市の主要な交通体系として、鉄道は山陽本線と新幹線、道路は国道二号、国道二号西条バイパス、国道三七五号、山陽自動車道があり、東広島道路が建設され山陽自動車道と繋がると、これらと県道や市道によって交通のネットワークが構成される。

山陽自動車道は平成五年には山口県の中国縦貫道のジャンクションから岡山県備前までが開通する。

### 進められている整備とスピードアップ

JR西日本の山陽本線も、広島―西条間ノンストップ列車が走るなどスピードアップが図られているし、八本松―西条間の新駅の設置や新空港への軌道系アクセスとして新空港への延伸も検討されている。熊野、黒瀬、東広島市が十分発展してくれば、広島市から新



西条駅大学線開通式(11月9日)

空港まで三〇分以内で行くことができるリニアカーの建設は夢ではないであろう。

西条駅や八本松駅周辺は駅前広場や街づくりの整備計画が進められている。国道二号西条バイパスは、平成五年には八本松駅から約二キロ広島寄りの地点で国道に接続される。八本松駅周辺の交通渋滞は解消され、広島大学キャンパスと八本松駅を結ぶバスの朝夕ラッシュ時の遅れはほとんど解消されよう。また、西条駅からキャンパスを結ぶ市道西条駅大学線(ブルーパール)は本年十一月九日に開通したので、来年三月からバス路線が一部変更され、時間短縮が図られる。キャンパス西側(総合科学部に沿う)の県道馬木八本松線は四車線(現在二車線に拡幅され、総合科学部の移転までには歩道の一部が完成する予定である。このほか、キャンパス北側の下見学生街地区でも街路計画が進むようになっていり、土井ガソリンスタンド前の上寺家下見線も拡幅されることになっている。

### 便利とはいえないバス、急増する死亡事故

バス路線はキャンパスから西条駅、八本松駅を結び、さらに新幹線駅へも結ばれているが便数が少ないのが難点である。昭和五十七年に工学部が移転して次の教育学部が移転するまでの間は、利用者も少なく、バス利用も不便であったが、今後移転が進み、バス利用者が増加すればそれだけ便利になる筈である。またバス路線網も十分ではない。とくに夜間



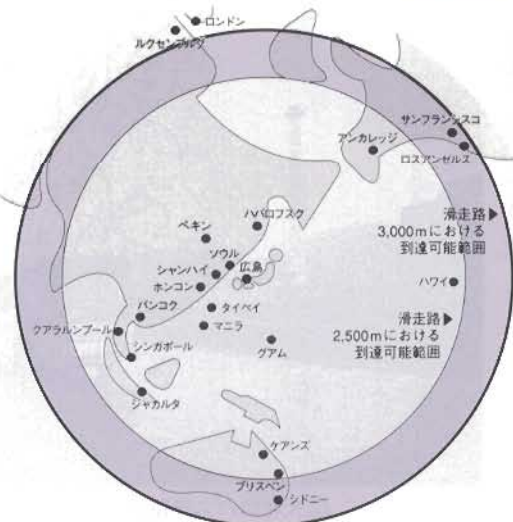
東広島市周辺

### 恵まれた高速交通体系

新幹線・高速道路、東広島から自動車で二十分の距離に建設される新広島空港など人や情報の交流に欠くことのできない高速交通体系には東広島市は恵まれているといえよう。新幹線も時速三五〇キロメートルにスピードアップが図られるであろう。

高速交通体系の整備に合わせて、高速交通体系へのアクセスの整備が一段と進むことを期待している。新幹線駅付近から山陽自動車道へのアクセス道として、東広島呉道路の建設が進められる。新幹線駅や西条駅から高速道路を利用するバス路線も新空港開港に合わ

は利用客が少ないため終便が早く、不便である。それだけに自家用車やバイクの利用が多くなっている。東広島市内の道路も順次整備されると思うが、既存の道路は片側一車線の道路が殆どで、歩道も整備されていないものが多く、自動車やバイクの運転には気をつける必要がある。車の利用が多いことから、キャンパス内の駐車問題について現在検討中である。また学生の交通事故が急増している。市内幹線道路での事故や西条キャンパス周辺、広島・西条間の国道での事故も起きており、本年すでに五名の学生が死亡事故に会っている。交通安全には特に注意して、慎重な運転を強く希望する。



新広島空港からのジャンボジェット到達可能範囲

「新広島空港の概要」より転載

### 便利になる国際交流

新空港の開港時滑走路は、二五〇〇メートルであるが、五年以内に中四国ブロックでは唯一の三〇〇〇メートルに延長されることが決定している。国際空港として旅客・貨物の

せて整備されることを望んでいる。

新幹線駅周辺には多くの駐車場があり、大変便利である。新空港も約八〇〇台の駐車場が準備されることになっている。